

COP26

報道等でご存じの通り、英スコットランド・グラスゴーでCOP26が行われました。COP26とは、国連の「気候変動枠組条約」に参加している国が集まる会議で、今回で26回目となります。

合意文書には、産業革命前からの「気温上昇を1.5度に抑える努力を追求する」という表現が盛り込まれました。ただ、すでに1度以上気温が上昇してしまっている今の状態から、1.5度目標の実現には、世界の排出量を30年までに10年比で45%減らし、50年には実質ゼロにする必要があると言われていきます。そのため今後は民間企業や自治体の役割がますます重視されることになるでしょう。

また、会場の外では、多くの市民や若者が集まり、デモ行進が行われました。こうした声を受けて、今まで以上に将来世代への配慮が求められた会議となったようです。

エコプロ2021



環境の総合展示会『エコプロ2021』が12月8日(水)から10日(金)の3日間、東京ビッグサイトで開催されます。昨年はオンラインでの実施でしたので、リアルでの開催は2年ぶりとなります。

今年は「持続可能な社会の実現に向けて」をテーマに掲げ、社会問題の解決を目指す展示会として、環境やSDGs関連の情報発信が強化されています。またSDGsに関連したテーマの展示会総称を『SDGs Week EXPO』として5つのビジネス展と同時開催するほか、オンラインを活用した展示も行われます。機会がありましたら、参加されてはいかがでしょうか。

『エコプロ2021』公式サイト <https://eco-pro.com/>
『エコプロ online 2021』 <https://eco-pro.com/2021/sdgs/>

働き方～リモートワーク～

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

8

働きがいも
経済成長も

目標 8

働きがいも
経済成長も

リモートワークは、政府が提唱する『働き方改革』を実現するための取り組みとして推奨されてきましたが、特に昨年来のコロナ禍で、緊急事態宣言への対応として、急速に普及しました。

リモートワークのメリットとしては、人材の確保やオフィスコストの削減、ワーク・ライフ・バランスの実現の他、通勤の減少やオフィスの省力化による環境負荷低減の効果もあります。一方デメリットとしては、情報漏洩のリスクが高まることや、労働実態の把握が難しいなどの他、コミュニケーションを取る機会の減少による孤独感などもあるようです。

当社でも可能な部署から導入し、出社と組み合わせたハイブリット形式で、現在も継続しています。



JS環境委員会短信

今年も残すところあと一ヶ月となりました。何かと忙しい時期です。体調を崩さないようご注意ください。

本社 環境委員会メンバー

委員長：下鳥治

委員：小井土昌弘 河野純一 庄司亜佐子

曲師里奈 森智史

